

第5章 今後の取組み

1 街路空間の再構築

近年の社会経済情勢の変化の中で、街路空間に求められる機能は大きく変化しており、自転車走行空間の必要性、歩行者の安全な通行に配慮した歩行空間の必要性、にぎわいの創出の場としての役割などが求められています。

特に、都市内においては、自転車や歩行者の安全の確保のほか、人が集まり楽しく快適に過ごせる魅力的な空間づくり等、求められる機能も多岐にわたっています。

今後の取組みとして、魅力と活力ある都市形成に向けて、周辺道路のネットワーク構成を踏まえ、それぞれの道路の役割や位置付けを明確にした上で、都市内の公共空間の有効活用という視点を持ち、多様なニーズや地域の実情に対応した街路空間を創出していくため、整備済の路線・区間も含めた道路ネットワーク全体において、街路空間の再構築を検討していきます。

2 自動運転に対応した道路整備について

現在自動運転は、技術革新が目覚ましく、自動車業界において積極的に研究・開発が行われるとともに、国も成長戦略の一環として自動運転実現に向けた取組みや推進を行っています。

自動運転の普及により、渋滞の解消・緩和や交通事故の削減、ドライバーの運転負担を軽減し、高齢者等の移動を支援するとともに、これまでにない新たなサービスが展開され、高効率で環境にも優しく、安全な道路交通社会や多様な利用者が新たなサービスを享受できる環境が構築されていくことが期待されています。

しかし、自動運転については、運転者のみならず社会としてどのように受け止めていくべきかについては、まだ十分な議論はなく、事故時の責任問題、非自動運転車との混在下での車両間のコミュニケーション、法制度など、検討すべき課題が多方面にわたり存在しています。

このことから、自動運転に対応した道路整備については、自動運転実現に向けた議論が進められ、実現性が高まった段階で検討していきます。